

## 施策分野をまたぐ重要テーマ

高齢者あんしん相談センターへのヒアリングや計画策定部会でのワークショップ形式での議論、さらに庁内における事業実施所管へのヒアリングを通じて、現場感覚・市民感覚から様々な課題を抽出してきました。これを以下の視点で大きく整理し、重点的に解決していくべき課題を分類しました。

A. 共通ボトルネック	事業や施策の実効性を高めるうえでの壁として 様々な施策分野に共通しているもの
関係者のビジョン共有 / 高齢者あんしん相談センターの機能強化と負担軽減 / 市民への情報発信と啓発 / 健康づくりや重度化防止の実効性確保	
B. 社会の変化に伴う課題	高齢化の進行やコロナ禍の影響などにより、特に対応を強化すべきもの
認知症対策 / 困っている人を孤立させず、支援につないでいく体制づくり / 地域の担い手づくり / 社会参加の習慣やつながりの再構築	
C. 前期からの継続課題	前期計画からさらに実効性を高めた取り組みを要するもの
リエイブルメントの推進(前期計画基本施策6) / 介護人材確保・生産性向上 / 適切なサービス利用に向けた窓口機能の強化(前期計画基本施策15)	

さらに、抽出した課題群について、「どのように解決していくか」という視点で整理し、8つのテーマを設定しました(カッコ内は前述の視点との対応、下線はコアとなる事業や施策)。

### ① 関係者のビジョン共有、連携強化(A)

- ・ 重層的支援体制整備
- ・ (検討中)医療職との連携強化、意識共有に向けた取り組み
- ・ (検討中)事業所による状態改善・維持の支援(インセンティブ付与や表彰など)

### ② 高齢者あんしん相談センターの機能強化・負担軽減(A)

- ・ 地域包括ケアの深化に向けた庁内連携体制づくり
- ・ シルバーふらっとなど、サテライト機能を持った拠点の増設
- ・ SC・認知症地域支援推進員の体制強化
- ・ 成果連動報酬の9期中の試行導入
- ・ 個別の事案を解決していく過程から政策的な課題を導き出す仕組みづくり
- ・ 予防プラン事業所指定や総合相談委託に向けた検討

### ③ 届いて響く発信力強化(A)

- ・ (検討中)窓口や支援の認知度向上に向けた取り組み
- ・ (検討中)介護予防・フレイル予防分野における、関係者のプロモーションスキル向上の取り組み
- ・ サロンなど身近な場所で支援の情報が手に入る環境づくり
- ・ リエイブルメントに向けた啓発の強化

- ④ 15万人の高齢者に対応できる、持続可能で実効性のある事業展開(A)
- ・ EBPM(データ分析など、根拠に基づく施策展開)推進に向けたプラットフォーム構築
  - ・ てくぽ
  - ・ 介護予防事業への成果連動型委託の導入
  - ・ 介護予防や生活支援での産官連携の推進(100年サポート企業、てくぽでの市場サービス連携)
- ⑤ 困っている人を見逃さない受信力強化(B)
- ・ (検討中)日常の交流から支援が必要な人を見つけ出す「つなぎ手」づくりに向けた啓発
  - ・ サロンへの「見守り加算」などを活用した、住民の見守り力強化。
  - ・ (検討中)ヤングケアラーの発見と支援に向けた庁内外の連携強化
  - ・ (検討中)8050 問題や虐待、経済的困窮など、介護に限らない問題を見逃さず、適切な支援につなぐための連携強化。
- ⑥ 「若い」に備える文化づくり(B)
- ・ 認知症を理解し、受け入れるための普及啓発強化
  - ・ 元気なうちに老いや認知症に備える視点での普及啓発
- ⑦ 市民の力を信じる、育てる、活かす(C)
- ・ リエイブルメントサービスの入口・出口強化
  - ・ 地域の担い手育成(住民主体による介護予防・生活支援サービス、チームオレンジなど)
  - ・ ジョブ・ボラマッチング(ICTによる仕事やボランティアのマッチングに向けた実証事業)
- ⑧ 介護人材対策(C)
- ・ 経営課題解決への伴走支援を含む事業者研修
  - ・ (検討中)ターゲットとタッチポイントを意識した介護の仕事の魅力発信

これらの重要テーマに関連する事業・施策については、個別ロジックモデル上で見出しを表示し、事業実施や進捗管理にあたっての優先度を明確化することを検討しています。